

令和8年度（2026年度）秋季入学

大学院環境共生学研究科 学生募集要項

（博士後期課程）

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

- ・ 出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出する一連の手続となります。）に限ります。
- ・ 出願に当たっては、必ず本要項及び本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」を確認してください。
- ・ 出願書類の提出は、郵送又は持参により行ってください。



目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 環境共生学研究科の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| 入学試験日程・募集人員一覧 | 2 |

博士後期課程 学生募集要項

| | |
|----------------------------------|----|
| 1 募集人員 | 3 |
| 2 出願資格 | 3 |
| 3 出願期間 | 3 |
| 4 出願手続 | 4 |
| 5 選抜方法 | 6 |
| 一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 共通 | 6 |
| 6 オンラインによる受験について（外国人留学生特別選抜に限る。） | 7 |
| 7 出願資格審査について | 8 |
| 8 合格発表 | 9 |
| 9 入学手続 | 9 |
| 10 授業料 | 10 |
| 11 成績の情報提供（開示）について | 10 |
| 12 個人情報の取扱いについて | 10 |
| 13 その他注意事項 | 11 |
| 環境共生学研究科（博士後期課程）のご案内 | 11 |
| 指導教員等一覧 | 13 |
| 研究志望調書等様式 | |

大学施設配置図

本要項の内容に変更が生じた場合は本学大学院入試ホームページにてお知らせしますので、常に最新の情報をご確認ください。

本学大学院入試ホームページ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>

環境共生学研究科の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

1 人材養成の目標

[博士後期課程]

(1) 高度専門職に携わる人材の養成

環境問題に造詣の深い人材への社会的需要は極めて大きいため、環境共生に関する専門的・学術的な知識を有する将来指導的立場となりうる高度専門職業人の育成を目指します。

(2) 研究者の養成

大学等で環境に携わる教育研究者として活躍できる人材、あるいは公的研究機関や企業の研究開発部門で指導的立場で活躍できる人材の養成を目指します。

(3) 社会人の専門分野の高度教育

社会人に対しても広く門戸を開放することによって、改めて「環境」の視点から、自らの専門分野を再学修する機会を提供し、指導者として、環境共生に関する広くかつ専門的な知識を備えた人材を養成します。

(4) 留学生の人材養成

国外の修士の学位(または相当する学力)を有する学生または社会人を受け入れ、環境共生学の基本理念、専門的知識と技術を備えた指導的人材を養成します。

2 求める人材像

[博士後期課程]

環境共生学研究科の理念に基づき、博士前期課程において専門分野の基礎学力、専門知識、プレゼンテーション能力、語学力を身に付けており、より高度な研究に対する意欲があると認められる学生、もしくは専門の関連分野において研究開発の実務経験を持つ社会人。

3 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、本学が定める学力検査（英語、専門科目）、面接及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

入学試験日程・募集人員一覧

博士後期課程

【試験実施日程一覧】

| | 出願資格審査 申請期間 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 入学手続期間 |
|------|--|------------------------------|-----------------|------------------|------------------------------|
| 秋季入学 | 令和8年 5月7日（木） ～5月13日（水） ※結果通知到着 6月5日（金）まで | 令和8年 6月8日（月） ～6月12日（金） | 令和8年 7月4日（土） | 令和8年 7月13日（月） | 令和8年 9月7日（月） ～9月11日（金） |

【募集人員】

| | |
|------|------------------------------------|
| 秋季入学 | 若干名 （一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計） |
|------|------------------------------------|

令和8年度（2026年度）熊本県立大学大学院 環境共生学研究科（博士後期課程）【秋季入学】

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

1 募集人員

環境共生学専攻 若干名（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計）

2 出願資格

次の(1)～(6)のいずれかに該当し、下記の選抜区分別出願条件を満たす者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和8年9月までに取得する見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年9月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年9月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）（注）
- (6) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者（注）

（注）上記(5)(6)により出願する場合は、事前に出願資格審査を行いますので、「7 出願資格審査について」の要領で申請を行ってください。

ただし、有効期間内の出願資格審査結果を利用して出願する場合を除きます。

選抜区分別出願条件

| | |
|------------|--|
| 一般選抜 | 特になし。 |
| 社会人特別選抜 | 令和8年9月30日現在、社会人経験が2年以上ある者（出願資格(1)～(4)の各号に該当する者は、修士の学位又は専門職学位に相当する学位の取得後の年数で満たすこと。）。なお、社会人経歴には、家事従事期間を含む。 |
| 外国人留学生特別選抜 | 日本国籍を有しない者。ただし、日本国に永住する許可を受けている者並びに留学生として日本の大学の修士の学位または専門職学位を有する者及び令和8年9月までに取得見込みの者を除く。 |

3 出願期間

- (1) インターネットによる出願登録及び入学検定料支払期間

令和8年6月8日（月）9時から6月12日（金）16時59分まで

※インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払だけでは出願は完了しません。令和8年6月12日（金）17時までに**出願書類の提出（必着のこと。）**が併せて必要ですので、インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払は余裕をもって行ってください。

- (2) 出願書類提出期間

令和8年6月8日（月）から6月12日（金）まで

郵送、持参を問わず、**最終日の17時までに本学教務入試課に必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）。なお、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

4 出願手続

(1) 出願方法

本学大学院入試ホームページ (<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>) にアクセスし、インターネット出願（インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出（郵送又は持参）する一連の手続となります。）により出願してください。出願に当たってはホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」により、出願方法に関する詳細を確認の上、行ってください。

インターネットによる出願登録の際は、指導希望教員を入力する欄があります。本募集要項、又は本学ホームページの研究者情報等を参考に、本学教務入試課入試班を通じ、指導を希望する教員とあらかじめ相談の上、出願してください（入学後の実際の指導教員は、希望どおりにならない場合があります。）。

令和8年6月12日（金）17時までに本学教務入試課入試班に到達していない出願書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、出願書類に不備がある場合も受理しません。

- ① 出願書類を郵送する場合は、『**簡易書留・速達**』によるものとし、令和8年6月12日（金）17時までに必着するように発送してください。

郵便事情により出願期間終了後に配達されたものは、以下の（ア）から（ウ）までの条件の全てを満たす場合に限り受理します。

【出願期限後に配達された出願書類を受理する条件】

- （ア） 『簡易書留・速達』郵便で発送されていること。
- （イ） 令和8年6月10日（水）までの消印があること。
- （ウ） 出願書類に不備がないこと。

- ② 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）。なお、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(2) 出願に必要な書類等

| 出 願 書 類 等 | | 摘 要 |
|-----------------------|-------------------------|---|
| 出 願 書 類 等 | 入 学 検 定 料 (入学者選抜手数料) | 30,000円（別途、支払手数料が必要です。） 支払方法は、本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」をご確認ください。 |
| | 入 学 志 願 票 (入 学 願 書) | 入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズ・横様式・カラーで印刷したものを提出してください。 |
| | 写 真 票 | 入学志願票と写真票は切り離さないでください（顔写真は、本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」に記載の見本のとおり撮ってください。）。 |
| | 履 歴 書 | 履歴については、高等学校卒業以降（外国人留学生は、初等教育（小学校）入学以降）の学歴、職歴、研究業績、資格、賞罰等をインターネット出願サイトで入力してください。 |
| | 研 究 志 望 調 書 | 本学大学院入試ホームページから所定の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。 【本学大学院入試ホームページ】 https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/environmental-symbiosis/ ● 【一般選抜・外国人留学生特別選抜】 修士論文等これまでの研究経過の概要及び希望する研究の計画に |

| | | |
|------------------|---|--|
| 出 願 書 類 | | <p>ついて、1,200字程度にまとめたもの。 ※英語の場合はA4判1枚程度 ● [社会人特別選抜] 修士論文等あるいは社会活動等の概要及び希望する研究の計画について、1,200字程度にまとめたもの。</p> |
| | <p>成績証明書（厳封） ※3ページの2(5)(6)いずれかの出願資格により出願する者を除く。</p> | <p>出願資格に該当する最終出身学校作成のもの（学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。）。 ※日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。日本語訳を作成するために厳封を開封する場合は、あらかじめ本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に問い合わせてください。</p> |
| | <p>修了（卒業）証明書 または同見込証明書 ※3ページの2(5)(6)いずれかの出願資格により出願する者を除く。</p> | <p>出願資格に該当する最終出身学校作成のもの（学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。）。 ※日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。</p> |
| | <p>戸籍抄本 ※該当者のみ</p> | <p>改姓により、成績証明書や修了（卒業）証明書等に記載されている氏名が、現在の氏名と異なる方のみ提出してください。</p> |
| | <p>住民票 ※該当者のみ</p> | <p>市区町村で発行したもので、在留資格、在留期間が明記されているものに限ります。 ※外国人留学生特別選抜の受験者で、日本に滞在中の方のみ提出してください。</p> |
| | <p>「出願資格認定通知」の写し等 ※該当者のみ</p> | <p>3ページの2(5)(6)のいずれかの出願資格により出願する場合は、有効期間内の「出願資格認定通知」の写し並びに「成績証明書」及び「修了（卒業）証明書」を提出してください。 ※後述の「7 出願資格審査について」を参照してください。 ※出願資格審査結果（出願資格あり）の有効期間は5年間です。 ※出願資格審査を申請し、「出願資格あり」と認定された場合は、認定された時点の年度と同一年度の出願に限り「成績証明書」「修了（卒業）証明書」の提出を省略することができます。</p> |
| そ の 他 | <p>出願用封筒 （角形2号封筒）</p> | <p>市販の角形2号封筒（A4サイズの書類が入る封筒）を用意してください。 インターネット出願サイトからダウンロードできる、下記「封筒貼付用宛名シート」及び「封筒貼付用出願書類チェックシート」を貼り付け、出願書類提出の際に出願書類を封入する封筒として使用してください。</p> |
| | <p>封筒貼付用宛名シート</p> | <p>入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。 印刷後は、このシートを上記「出願用封筒」の表（おもて）面に貼り付けてください。</p> |
| | <p>封筒貼付用出願書類 チェックシート</p> | <p>入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。上記「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードする際に、併せてダウンロードすることができます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。 記載されている確認項目により出願書類に不足・不備がないことを確認した上で、チェック欄に「○」を記入し、上記「出願用封筒」の裏面に貼り付けてください。</p> |

(3) 注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入漏れ」、「誤記」等には十分注意してください。
- ② いったん受理した出願書類は、論文（原本を提出した場合に限る。）を除き、理由のいかんを問わずいっさい返却しません。
- ③ 既納の入学検定料は、次の(ア)から(ウ)までの場合を除き、理由のいかんを問わずいっさい返還しません。
 - (ア) 出願書類等を提出しなかった場合
 - (イ) 出願が受理されなかった場合
 - (ウ) 二重に支払った場合
 ※ (ア)から(ウ)までのいずれかの場合に該当し、返還を希望する者は、本学教務入試課入試班 (TEL 096-321-6610) に連絡の上、指定のあった書類を提出してください。
 なお、返還額は、本学からの振込時の手数料を差し引いた額とします。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(4) 願書の提出（郵送）・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
 熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当
 TEL 096-321-6610

(5) 受験票の準備

受験票は、試験日の10日程度前に、インターネット出願サイトからダウンロードできるようになります。受験者自身で受験票をダウンロードし、印刷（A4サイズ・カラーで印刷し、ページの拡大・縮小はしないこと。）の上、大切に保管し、試験当日に必ず持参してください。

なお、試験日の3日前となってもインターネット出願サイト上で受験票がダウンロードできない場合は、本学教務入試課入試班 (TEL 096-321-6610) まで問い合わせてください。

5 選抜方法

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 共通

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、口頭試問及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査

英語

(2) 口頭試問

① 【一般選抜・外国人留学生特別選抜】

修士論文（途中経過を含む。）あるいはそれ以外の研究に関する口頭発表と、発表内容に関連する質疑応答を行います（発表内容には、これまでの研究成果と、博士後期課程で実施を希望する研究計画を含むこと。）。

② 【社会人特別選抜】

修士論文等の研究成果、あるいは社会活動に関する口頭発表と、発表内容に関連する質疑応答を行います（発表内容には、これまでの研究成果、社会人としての実務及び活動内容、博士後期課程で実施を希望する研究計画を含むこと。）。

(3) 試験日時

| 試験日 | 試験科目等 | 試験時間 | 配点 | 総点 |
|-----------------|--------------------|-------------|-----|-----|
| 令和8年 7月4日（土） | 英語 | 10:00～11:30 | 100 | 200 |
| | 口頭試問 (研究発表を含む。) | 13:00～ | 100 | |

注) 1 9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。

- 2 口頭試問の時間は、当日学内に掲示します。
- 3 英語については、試験開始後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。
- 4 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ (<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>) に掲載します。必ず確認してください。

(4) 試験場

熊本県立大学 ... 熊本市東区月出3丁目1番100号 TEL 096-321-6610

(5) 口頭試問について

研究発表は液晶プロジェクターを用いることとします。発表会場には液晶プロジェクター本体のみを用意するので、必要な機器（パソコン）及びコネクター等については各自で持参してください（使用するスライド等の枚数は制限しません。）。

なお、本学で用意するプロジェクターの接続端子は、HDMI（タイプA・標準サイズ）です。

時間配分は以下のとおりとします。

① [一般選抜・外国人留学生特別選抜]

- ・修士論文（途中経過を含む。）あるいはそれ以外の研究に関する口頭発表 15分
- ・発表内容に関連する質疑応答（各研究分野の専門に関する質問を含む。） 10分

② [社会人特別選抜]

- ・修士論文等の研究成果、あるいは社会活動に関する口頭発表 15分
- ・発表内容に関連する質疑応答（各研究分野の専門に関する質問を含む。） 10分

(6) 採点・評価基準

| | |
|------|--|
| 英 語 | 専門分野に関する英語の能力を評価します。 |
| 口頭試問 | これまで行ってきた研究や今後の研究計画について説明を求め、専門分野に関する知識や考察力、意欲や研究遂行能力などを評価します。 |

(7) 合格基準

- ① 総得点の概ね6割以上を合格とします。
- ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
ただし、上記①又は②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。

6 オンラインによる受験について（外国人留学生特別選抜に限る。）

- (1) オンラインによる試験を希望する海外在住の出願者が1人でもいる場合は、全ての出願者について、インターネット環境によりビデオ会議機能をもつアプリケーションを活用して「口頭試問」を実施することとします。オンラインによる試験を希望する出願者は、出願期間中にその旨を事務局に申し出てください。
- (2) オンラインによる試験を実施する場合は、出願期間終了後速やかに本学教務入試課入試班から全ての出願者に連絡します。
- (3) この場合は、試験科目「英語」については、「口頭試問」を英語で行い、面接者が専門分野に関する英語の能力を評価し、採点します。
- (5) 試験日時

| 試験日 | 試験科目等 | 試験時間 | 配点 | 総点 |
|-----------------|---------------------|---------------------------|-----|-----|
| 令和8年 7月4日(土) | 口頭試問 (研究発表を含む。) | 出願者の居住する国の現地時間等を考慮し設定します。 | 100 | 200 |
| | 英語 (口頭試問を英語で行う。) | | 100 | |

- 注) 1 試験開始時間は、別途通知します。試験時間は開始から25分間です。
2 試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。

(6) 口頭試問について

- ① 修士論文（途中経過を含む。）あるいはそれ以外の研究に関する口頭発表 15分
- ② 発表内容に関連する質疑応答（各研究分野の専門に関する質問を含む。） 10分
- ③ インターネット環境により、ビデオ会議機能を持つアプリケーション（Microsoft Teams及びGoogle Meet等、Microsoft Teamsと互換性のあるものを基本とする。）を使用すること。
- ④ 口頭発表に用いる資料は、出願者が試験日の1週間前（6月26日（金））までに、メール等により教務入試課入試班へ提出し、口頭試問の際に使用してください。

(7) その他、採点・評価基準及び合格基準については、5の選抜方法と同様とします。

7 出願資格審査について

■ 「2 出願資格」の(5)(6)いずれかにより出願する場合

(1) 出願資格審査に必要な書類

- ① 出願資格審査申請書（本研究科所定の様式）
- ② 履歴書（本研究科所定の様式）
- ③ 成績証明書（最終出身学校作成のもの及び現在学校に在籍している場合は、当該学校作成のもので、総履修時間数も記載されているもの） ※厳封
- ④ 修了（卒業）証明書（最終出身学校作成のもの）
- ⑤ 研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧（本研究科所定の様式）
これまでの研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧を提出してください。
また、すでに論文や報告書などにまとめられたものがあれば、別刷（コピー可）を提出してください。
- ⑥ 研究志望調書（本研究科所定の様式）
希望する特別研究の概要について記述した文書（1,200字程度）を提出してください。
- ⑦ 戸籍抄本（該当者のみ）
改姓により、③及び④に記載されている氏名が、現在の氏名と異なる方のみ提出してください。
- ⑧ 返信用封筒（定形封筒（長形3号）に410円分の切手（速達料金含む。）を貼り、申請者の住所・氏名を明記してください。）

※①②⑤及び⑥の「本研究科所定の様式」は、本学ホームページに掲載のPDF又はWordファイルを印刷（A4判、白紙に限ります。）したものを利用できます。

本学ホームページ（大学院入試 環境共生学研究科）

<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/environmental-symbiosis/>

(2) 審査方法

書類審査（上記(1)①～⑦による。）

(3) 出願資格審査申請書類の提出期間

令和8年5月7日（木）から5月13日（水）まで

(注) 郵送、持参を問わず、最終日の17時までに本学教務入試課に**必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）。なお、申請期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

郵送の場合は、『簡易書留・速達』により送付するものとし、封筒の表面に「**大学院環境共生学研究科（博士後期課程）秋季入学出願資格審査申請書類在中**」と朱書きしてください。

(提出先)

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当
TEL 096-321-6610

(4) 出願資格審査の結果の通知

令和8年6月5日（金）までに本人宛てに通知します。

8 合格発表

(1) 日時

令和8年7月13日（月） 13時30分以降

(2) 方法

合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話、メール等による問い合わせには応じません。

また、合格者の受験番号については、参考までに本学ホームページに掲載します。

| | |
|--------------|---|
| 本学ホームページアドレス | https://www.pu-kumamoto.ac.jp/ |
|--------------|---|

9 入学手続

入学手続として、インターネットによる入学手続情報登録及び入学金の支払の後、入学手続書類の提出（郵送又は持参）が必要です。

入学手続の詳細は、合格通知書とともに郵送する書面でお知らせします。

(1) 手続期間

令和8年9月7日（月）から9月11日（金）17時まで（必着）

上記期間内に手続をしなかった場合は入学辞退とみなします。

(2) 提出書類

不備のないよう確認の上、次の書類を提出してください。

① 宣誓書（外国人留学生の方は誓約書）

本学所定の用紙（インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の様式を使用してください。）

② 保証書…保証人（外国人留学生の方は、日本国内在住の身元保証人（社会人に限る。）

1名が必要です。

本学所定の用紙（インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の様式を使用してください。）

③ 住民票

県内生については、入学者が生計を一にする世帯の主たる生計維持者及びその世帯全員の住民票が必要です（県外生は不要）。

（注）県内生とは、入学者が生計を一にする世帯の主たる維持者が令和8年9月11日の6ヶ月前（令和8年3月11日）から引き続き熊本県内に住所を有する場合をいいます。

外国人留学生の場合は、前述の期日から引き続き熊本県内に住所を有する者をいいます。

(3) 書類の提出方法

郵送又は持参によること。

① 令和8年9月11日（金）17時までに到達していない入学手続書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。

② 郵送する場合は、『簡易書留・速達』によるものとし、手続期間中に必着するよう発送してください。

③ 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）なお、入学手続期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(4) 書類の提出先（郵送）・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当
TEL 096-321-6610

(5) 入学金（令和8年度現行）

県内生 207,000円

県外生 414,000円

（注1）本学大学院環境共生学研究科の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する場合は不要です。

（注2）入学手続後の入学辞退について

入学手続後、やむを得ず入学を辞退する場合は、必ず、令和8年9月16日（水）までに教務入試課入試班に連絡してください（「入学辞退届」を提出していただきます。）。

なお、納められた入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

10 授業料（令和8年度現行）

年額 535,800円（各期 267,900円×2期）

（注）在学中に授業料額及び納付期日等が改定された場合には、改定時から適用されます。

11 成績の情報提供（開示）について

(1) 提供する情報

得点 各試験科目等の総得点

順位 不合格者のみの開示で、不合格者が10名以上の場合に限りランク表示をします。
ランクは、不合格者を成績順に3ランク（上位1/3がA、中位1/3がB、下位1/3がC）に区分して表示します。

(2) 請求期間及び時間

令和8年7月16日（木）から8月17日（月）まで

取扱時間は、9時から17時までとします（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）。なお、土曜日、日曜日及び祝日は受付・情報提供を行っていません。

(3) 提供依頼方法及び場所

入学試験を受験した本人が、熊本県立大学に来学の上、教務入試課窓口にて口頭で情報提供希望を申し出てください（代理人への情報提供はできません。）。

なお、本人確認のため、本学大学院受験票を持参してください。受験票を紛失した場合等はお問い合わせください。

12 個人情報の取扱いについて

入学出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正な管理を行っています。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

なお、受験者本人から入学試験成績等の開示請求があったときは、個人情報の保護に関する法律等に基づき開示することになります。

13 その他注意事項

障がい等により受験及び修学に際して合理的配慮を希望する場合は、令和8年6月8日（月）までに本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に相談の上、指定のあった書類を期日までに提出してください。

環境共生学研究科（博士後期課程）のご案内

1 教育課程の編成

環境共生学研究科の理念及び人材養成の目標を実現するために、本研究科の教育課程は、次の3つの特別演習と1つの特別研究で編成されています。

| | | |
|------|--|--|
| 特別演習 | 生態系環境共生 特別演習 | 水圏、地圏、大気圏を含めた生態系における物質動態、相互影響に関連する研究手法を修得し、持続的かつ高い生物生産体系、生物多様性、生態系の保全管理手法等の理解を目指し、本特別演習のテーマから一題材を選択し履修する。 |
| | 居住系環境共生 特別演習 | 地球上で人が住まうという行為「居住」を幅広くとらえて、自然・社会と共生する居住環境とは何かの意味を考察すると共に、自然・社会との共生を実現するための具体的な手法の修得を目指し、本特別演習のテーマから一題材を選択し履修する。 |
| | 食健康系環境共生 特別演習 | 環境共生の視点から、食資源の重要性と種々の食・健康環境要因を総合的に理解し、人々の健康の維持・向上と疾病の予防を図りながら循環型社会を構築するための演習を行う。具体的な手法の修得を目指し、本特別演習テーマから一題材を選択し履修する。 |
| 特別研究 | <p>高度に専門化した特定の研究課題を環境共生学の視点から選び、実験、調査、解析などを通して博士論文の作成を指導する。</p> <p>研究1：海の生態・環境保全に関する研究 研究2：資源循環・エネルギー生成に関する研究 研究3：大気・水中物質の挙動に関する研究 研究4：環境教育に関する研究 研究5：建築構造物の安全性に関する研究 研究6：都市・農村地域の持続に関する研究 研究7：環境に配慮した居住環境に関する研究 研究8：食品の安全性、嗜好性ならびに機能性の分析・評価に関する研究 研究9：食と健康の生理・生化学・管理に関する研究 研究10：食と健康と環境に関する応用微生物学的研究 研究11：食と健康に関する臨床医学的研究</p> | |

2 標準修業年限 3年

3 昼夜開講制の実施

社会人の間には新しい専門知識の修得の必要性が高まり、高度なりカレント教育への期待が増大していることから、社会人を受け入れる昼夜開講制を実施しています。特に博士後期課程では、特別研究の授業は（社会人の場合は指導研究も）、原則として夜間（18：00～21：10）の時間帯に行われます。

4 長期履修制度の実施

社会人の様々な学修需要に対応するために、長期履修制度を導入しています。この制度は、職業を有している、あるいは育児、長期介護等のために、年間に修得できる単位数や研究活動・学修活動への時間数が限られるため、標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

入学者選抜試験前であっても、この制度について質問などがある場合は、教務入試課教務班（TEL：096-321-6609）に御相談ください。

(1) 対象となる方

- ① 職業を有し、標準修業年限3年で修了することが困難な方
- ② その他、長期履修が必要となる相当の理由がある方

(2) 修業年限

最長6年までの範囲内で認められた年限

(3) 授業料

標準の修業年限に支払うべき授業料総額（博士後期課程では3年間分）を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（納期）に支払うこととなります。

(4) 申請手続及び長期履修の許可

申請を希望する場合は、指導教員に相談の上、申請書を教務入試課に提出してください。申請に対し、標準修業年限で修了することが困難であると認められた方について、長期履修が許可されます。また、新入生だけでなく、入学後に学修環境が変化した学生も長期履修を申請することができます。

[申請書類に添付する証明書等]

- ・勤務状況を証明するものや、内定通知書等の写し。
- ・育児・介護の必要性を証明するもの（例えば、母子健康手帳の写しや介護保険被保険者証などの写し）。
- ・その他長期履修が必要であることを証明するもの。

(5) 申請後の変更

在学中1回に限り可能

大学院研究科（春季・秋季入学）入試状況（志願者数～入学者数）

| 研究科 | 日程 | 定員 | 選抜区分 | R5年度 | | | | R6年度 | | | | R7年度 | | | | R8年度 | | | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------|------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|---|---|---|
| | | | | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | | | |
| 環境共生学 研究科 (博士後期 課程) | 春季入学 (春季募集) ※秋季募集は 実施なし | 3名 | 一般 | 男性 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 社会人 | 男性 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 外国人 | 男性 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 秋季入学 | 若干名 | 一般 | 男性 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 社会人 | | | 男性 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 外国人 | | 男性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 水銀研究 | | 男性 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | |
| | | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 合計 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 園費 | 男性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 3名 | 一般 | 男性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | | 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 社会人 | 男性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 外国人 | 男性 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | | |
| | 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 合計 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | | |
| 合計 | 4 | 4 | 2 | 2 | 7 | 7 | 5 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | | | | | |

指導教員一覧

令和8年度予定

| | 職名 | 氏名 | 特別演習のテーマ |
|--------------|-----|----------------|---|
| 生態系環境共生特別演習 | 教授 | 阿草 哲郎 | 微量化学物質精密計測論 |
| | 教授 | 石橋 康弘 | 環境材料循環論 |
| | 教授 | 一宮 睦雄 | 海洋生物生産論 |
| | 教授 | 小林 淳 | 環境物質管理循環論 |
| | 教授 | 張 代洲 | 大気物質広域移動論 |
| | 教授 | Jeffrey Morrow | Environmental Education /Ecotourism Course |
| | 准教授 | 小森田 智大 | 沿岸生態環境論 |
| 居住系環境共生特別演習 | 教授 | 柴田 祐 | 農山村域計画論 |
| | 教授 | 高橋 浩伸 | 空間デザイン論 |
| | 教授 | 辻原 万規彦 | パッシブ環境調整工学論 |
| | 教授 | 李 麗 | 空間構造論 |
| | 准教授 | 鄭 一止 | まちづくり論 |
| 食健康系環境共生特別演習 | 教授 | 坂本 達昭 | 栄養教育実践論 |
| | 教授 | 下田 誠也 | 臨床病態制御論 |
| | 教授 | 白土 英樹 | 食品機能分析論 |
| | 教授 | 友寄 博子 | 食品栄養機能論 |
| | 教授 | 松崎 弘美 | 応用微生物論 |
| | 准教授 | 阿南 弥寿美 | 食資源安全性論 |
| | 准教授 | 中嶋 名菜 | 給食システム論 |

(注)カリキュラム（教育課程）、シラバス（授業内容）については本学ホームページ（<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>）をご覧ください。

授業科目の講義内容について

| 授 業 科 目 名 | 講 義 等 の 内 容 |
|-----------------|--|
| 生態系環境共生 特別演習 | <p>水域、地圏、大気圏を含めた生態系における物質動態、相互影響に関連する研究手法を修得し、持続的かつ高い生物生産体系、生物多様性、生態系の保全管理手法等の理解を目指し、以下のテーマから一題材を選択し履修する。</p> <p>テーマ1：微量化学物質精密計測論 【内容】 環境中で物理化学的あるいは生物学的反応を受け、種々の極性物質へと変化していく微量化学物質を解析する高度な分析計測技術を指導し、さらに反応生成物が生態系に与える影響の評価方法を指導する。 【担当】 教授 阿草 哲郎</p> <p>テーマ2：環境材料循環論 【内容】 低炭素及び資源循環という観点から、廃棄物のリサイクルプロセスやバイオマスを利用した新エネルギー製造プロセスについて理解させる。 【担当】 教授 石橋 康弘</p> <p>テーマ3：海洋生物生産論 【内容】 本邦周辺海域の高い漁業生産を支える低次生態系の構造と機能を把握し、持続的な海洋生物資源利用のあり方を議論する。 【担当】 教授 一宮 睦雄</p> <p>テーマ4：環境物質管理循環論 【内容】 微量環境汚染物質の存在、挙動、毒性影響評価方法を解説し、生態系及び人への健康影響評価、化学物質の処理方法及び適切な管理・運用方法を理解させる。 【担当】 教授 小林 淳</p> <p>テーマ5：大気物質広域移動論 【内容】 大気中の汚染物質に関する最新の調査データと分析方法について概説し、観測例に基づく大気環境問題に関する研究調査の現状を理解させる。 【担当】 教授 張 代洲</p> <p>テーマ6：Environmental Education/Ecotourism Course 【内容】 The course explores the development of English-language resources for environmental education, emphasizing ecotourism as a tool for regional development through experiential, hands-on activities. This course will also examine methods to incorporate ecotourism into rural development programs that will have a long-lasting and positive impact on rural populations, bringing together environmental learning, global communication, and activities that are inline with environmental sustainability. 【担当】 教授 Jeffrey Morrow</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>テーマ7：沿岸生態環境論 【内容】干潟を含む沿岸浅海域の海洋環境および生態系の構造と機能について、有明海、八代海などの具体例をまじえて解説し、沿岸生態学の理論と研究手法を修得させる。 【担当】准教授 小森田 智大</p> |
| <p>居住系環境共生 特別演習</p> | <p>地球上で人が住まうという行為「居住」を幅広くとらえて、自然・社会と共生する居住環境とは何かの意味を考察すると共に、自然・社会との共生を実現するための具体的な手法の修得を目指し、以下のテーマから一題材を選択し履修する。</p> <p>テーマ1：農山村域計画論 【内容】新たな時代のわが国の農村漁村の方向について、国内外の事例から、農山漁村地域が有する多面的な機能や持続的な仕組みを理解することを通じて考える。 【担当】教授 柴田 祐</p> <p>テーマ2：空間デザイン論 【内容】空間デザインにおける審美性に着目し、西洋美との違いを見せる日本美に関する知識を、思想・文化・歴史及び地域性などに学び、今後の日本の空間デザインを考える。 【担当】教授 高橋 浩伸</p> <p>テーマ3：パッシブ環境調整工学論 【内容】持続的な開発とエネルギーの消費、さらに人間の健康と快適性との関係を居住環境調整の立場から考える。 【担当】教授 辻原 万規彦</p> <p>テーマ4：空間構造論 【内容】地震や台風などの自然災害による外力を受ける構造物の空間構造システム、構造デザイン及び構造安全性の評価に関する知識を学ぶ。 【担当】教授 李 麗</p> <p>テーマ5：まちづくり論 【内容】住みたい持続可能な都市づくりを目指し、コミュニティ、リノベーション、DIY、公共的空間、社会実験、空き家再生、エリアマネジメント、観光、サーキュラーエコノミーなどの取り組みとその仕組みを考える。 【担当】准教授 鄭 一止</p> |

| 授 業 科 目 名 | 講 義 等 の 内 容 |
|--------------|---|
| 食健康系環境共生特別演習 | <p>環境共生の視点から、食資源の重要性と種々の食・健康環境要因を総合的に理解し、人々の健康の維持・向上と疾病の予防を図りながら循環型社会を構築するための演習を行う。具体的な手法の修得を目指し、以下のテーマから一題材を選択し履修する。</p> <p>テーマ1：栄養教育実践論 【内容】社会経済状況などを踏まえて人の食行動を多面的に理解したうえで、健康状態やQOLの向上を目的とした教育介入や環境整備について考察する。 【担当】教授 坂本 達昭</p> <p>テーマ2：臨床病態制御論 【内容】医学・栄養学・薬学の融合科学の視点から、糖尿病、肥満、メタボリックシンドローム、内分泌疾患といった各種疾病の成因や病態を理解するとともに、これらの病態制御に関する最新の知見を踏まえて、新規予防・診断・治療法について検討・考察する。 【担当】教授 下田 誠也</p> <p>テーマ3：食品機能分析論 【内容】食品機能に関わる各種食品成分の分析並びに評価法について理解し、健康を維持・向上させる機能性食品、機能素材や高品質食品素材創製を通じた循環型社会の構築を考察する。 【担当】教授 白土 英樹</p> <p>テーマ4：食品栄養機能論 【内容】食品由来の栄養素や機能性成分がどのような影響を生体へ及ぼすか評価するとともに、生活習慣病の予防・改善効果について考察する。さらに、食品の機能性表示制度の活用についても検討する。 【担当】教授 友寄 博子</p> <p>テーマ5：応用微生物論 【内容】応用微生物学の観点から、健康を維持・向上させる微生物利用食品と食品微生物制御技術、バイオテクノロジーによるバイオマス資源の活用や環境調和型材料の合成などを通じて、食と環境における循環型社会の構築を考察する。 【担当】教授 松崎 弘美</p> <p>テーマ6：食資源安全性論 【内容】人間活動由来あるいは自然環境由来の化学物質による食品汚染状況や、その生体影響のメカニズムを理解し、科学的根拠に基づく食の安全性ならびにリスク制御手法について考察する。 【担当】准教授 阿南 弥寿美</p> <p>テーマ7：給食システム論 【内容】食環境の変化に伴い、ヒトと自然に適した給食のあり方を模索する必要がある。各ライフステージの健康課題を考え、持続的な給食システムを考察する。 【担当】准教授 中嶋 名菜</p> |

| 授 業 科 目 名 | 講 義 等 の 内 容 |
|-----------|--|
| 特別研究 | <p>高度に専門化した特定の研究課題を環境共生学の視点から選び、実験、調査、解析などを通して博士論文の作成を指導する。</p> <p>研究1：海の生態・環境保全に関する研究 研究2：資源循環・エネルギー生成に関する研究 研究3：大気・水中物質の挙動に関する研究 研究4：環境教育に関する研究 研究5：建築構造物の安全性に関する研究 研究6：都市・農村地域の持続に関する研究 研究7：環境に配慮した居住環境に関する研究 研究8：食品の安全性、嗜好性ならびに機能性の分析・評価に関する研究 研究9：食と健康の生理・生化学・管理に関する研究 研究10：食と健康と環境に関する応用微生物学的研究 研究11：食と健康に関する臨床医学的研究</p> <p>特別研究に関しては、上記の研究課題の下、国立水俣病総合研究センターとの連携大学院において、水銀分析や影響評価等に関する研究ができる。</p> |

研究志望調書

受験者氏名 : _____

[テーマ]

[概要] (1,200字程度)

- ※1 横書きとしてください。
- ※2 パソコン入力、手書きのどちらでもかまいません。
- ※3 この様式は本学ホームページ「入試情報(大学院)」から印刷可能です。

出願資格審査申請書

年 月 日

熊本県立大学大学院
環境共生学研究科長 様

(申請者)

フリガナ

氏 名

生年月日 (西暦)

年 月 日 (歳)

連絡先住所

〒 -

電話番号 () -

携帯番号 () -

令和8年度(2026年度)熊本県立大学大学院環境共生学研究科(博士後期課程)【秋季入学】に出願したいので、個別の入学資格審査を申請します。

氏名 _____

履 歴 書

| 学 歴 | |
|---|--|
| ※中学校卒業以降を記入。 ※外国人留学生は初等教育（小学校）入学以降を記入。 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 職 歴 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |

※ この様式は本学ホームページ「入試情報（大学院）」から印刷可能です。

氏名 _____

研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧

| 年 | 月 | 研 | 究 (学会発表・論文等) |
|---|---|---|--------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 年 | 月 | 教 | 育 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※ この様式は本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

令和8年度(2026年度) 熊本県立大学大学院 環境共生学研究科 [博士後期課程] 【秋季入学】
< 出願資格審査用 >

氏名 _____

研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧

| 年 月 | 職 務 |
|-----|---------------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 年 月 | 社会活動 (NPO活動等) |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 年 月 | そ の 他 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

※ この様式は本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

大学施設配置図

日赤病院





熊本県立大学

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

TEL.096-321-6610(教務入試課入試班直通)

FAX.096-383-2364

<https://www.pu-kumamoto.ac.jp>

E-mail:nyusi@pu-kumamoto.ac.jp